

## 分散避難の3手段

分散避難は、自宅にとどまり、浸水の恐れのない階へ避難する「在宅避難」、浸水の恐れのない親戚、知人の家やホテルなどへ避難する「縁故等避難」、「避難所への避難」の3つに分かれます。

4ページのフローチャートも活用しましょう。



### まずは 在宅避難

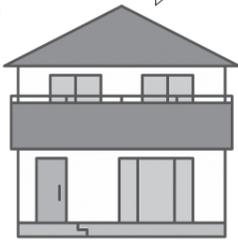
- 浸水や倒壊の危険がない建物に住んでいる場合は、自宅にとどまる
- 戸建てなど浸水する階がある場合は、浸水しない階へ避難

ライフラインが使えない時に備え、懐中電灯や簡易トイレなどを用意

在宅避難が長引く場合を考えて備蓄を多めにしておこう

電化製品や畳を可能な範囲で浸水しない階へ移動させよう

水が引いた後活動ができるように動きやすい靴を用意しよう



### 次に 縁故等避難

- 浸水の恐れがない家族・親戚・知人の家やホテルなどへ避難する
- 日ごろから避難先の人と連絡をとっておく

避難できるか早めにホテルに確認しよう

電車やバスが動いているうちに親戚の家がある●●県へ

早めに車で浸水地域外へ移動



### 最後に 避難所への避難

- 日ごろから非常用持ち出し品を用意し、荒天になる前に避難所へ移動する
- 2食分の食料や水、タオルなどを必ず持参する

近所のおじいさん、おばあさんにも声をかけて一緒に避難しよう

食料は火やお湯を使わずに済むものを持っていこう

体温計やマスクの予備など感染症グッズも持参しよう

餌やリードを持って、ペットと一緒に避難

ペットの同行避難はケージが必要です！



▲▼令和元年台風19号で被災した市内



## 特集 水害対策×感染症対策 今こそ考える、避難のカタチ。

☎ 危機管理課 ☎ 055-948-1482

### 変わる避難

「あなたはどこに避難する？」

まだ記憶に新しい令和元年の台風第19号。床上・床下浸水、農作物冠水、停電、断水など市内全域に甚大な被害をもたらしました。

当時の避難方法とはというと、「指定避難所」への避難一択でした。今後は、新型コロナウイルスをはじめとした感染症対策として、避難所での三密（密閉・密集・密接）

を避けるため、避難所以外の場所（自宅、親戚、知人宅など）へ分散して避難する「分散避難」が必要となります。分散避難では、一人一人が事前に自宅の浸水リスクをハザードマップなどで確認し、避難方法を決めておく必要があります。今回は、避難方法の判断と、避難所での過ごし方について特集します。